

# 「お客様本位の業務運営に関する基本方針」にかかる 取り組み状況について

－2022年度－

銚子商工信用組合は、お客様の資産形成に相応しい金融商品・サービスを提供し続けるため「お客様本位の業務運営に関する基本方針」を策定・公表いたしました。

本方針に基づく取り組み状況と、比較可能な共通の成果指標【共通KPI】を取りまとめ公表いたします。

## 《基本方針》

1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
2. 重要な情報の分かりやすい提供
3. 利益相反の適切な管理
4. 職員に対する適切な動機付けの枠組み等

KPI分析ツールに含まれる投信分析評価情報および一切の知的財産権は株式会社QUICKに帰属します。  
株式会社QUICKは、投資分析評価情報の内容については万全を期しますが、その正確性、信頼性などについてはいかなる責任も負いません。

## 1.お客様の最善の利益の追求とサービスの提供

お客様の取引目的、知識、取引経験、資産状況等を十分に把握し、お客様の多様なニーズに合った金融商品を選択いただけるよう、商品ラインアップの充実に努め、お客様にふさわしい商品のご提案を行います。

### ●つみたてNISAラインアップ

種別		2023年3月末	
		ファンド数	構成比
債券		6	26.1%
	国内外債券	1	4.3%
	海外債券	5	21.7%
株式		9	39.1%
	国内株式	4	17.4%
	国内外株式	5	21.7%
REIT		2	8.7%
	国内REIT	1	4.3%
	海外REIT	1	4.3%
バランス		6	26.1%
	国内外バランス	6	26.1%
合計		23	100.0%

種別		2023年3月末	
		ファンド数	構成比
株式		4	80.0%
	国内株式	2	40.0%
	海外株式	2	40.0%
バランス		1	20.0%
	国内外バランス	1	20.0%
合計		5	100.0%

※当組合は金融商品の組成に携わっておりません。

## 2.重要な情報の分かりやすい提供

当組合では金融商品のご提案にあたって、お客様のライフイベント等を通して、資産運用の必要性、投資信託の仕組み、内在するリスク、取引条件、手数料、その他諸費用など、お客様にご判断いただくための重要な情報については、パンフレットや目論見書、重要情報シートなどを用いて説明しています。

●ご案内により提供している主な情報は次のとおりです。

ア. お客様のライフイベント等を踏まえた目標資産額等を検討する場合に参考となる情報

### しんくみ 資産運用のご案内

お客様の資産運用プランに、お役立ていただくため運用商品をご用意しました。  
いろいろな夢や豊かな未来のために、しんくみで、はじめてみませんか。

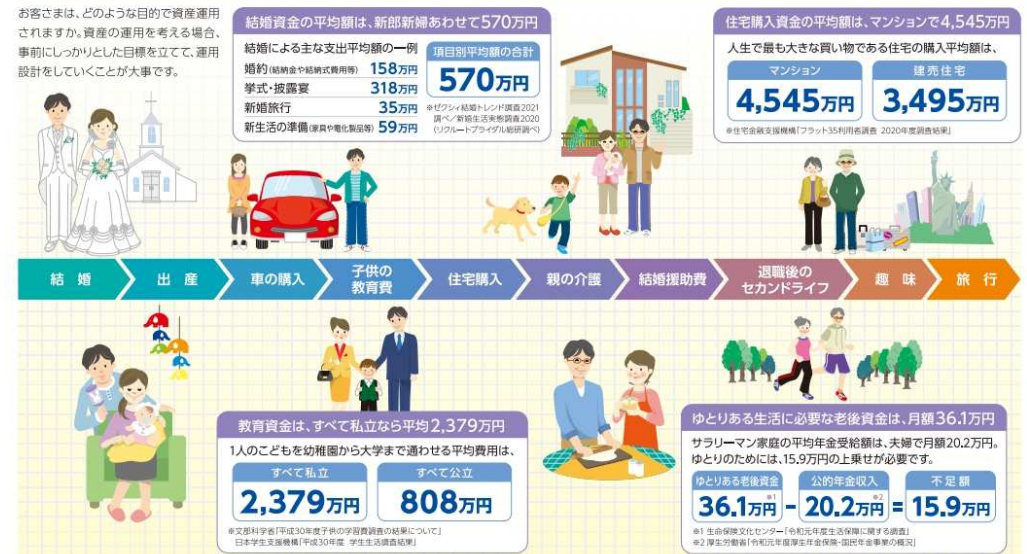


いつも身近に ふれ愛バンク  
銚子商工信用組合  
<https://www.choshi-shoko.co.jp>

### 人生にはいろいろな出来事があります。

ご結婚、車の購入、お子さまのご入学、住宅のご購入、退職後のゆとりあるセカンドライフ。

●老後資金だけでなく、ライフイベントには意外にお金がかかります



(最新版は2023年6月更新)

イ. 投資信託による資産運用を初めて検討されているお客さまに参考となる投資信託の仕組み等に関する情報

## 大切なご資産の運用方法を考えてみましょう。〈2〉

### ● 投資信託とは何か

多くのお客さま(受益者)の資金を集め、資金運用の専門家が株式や債券、不動産投資信託などに分散投資し、お客さまがその運用成果を享受する仕組みです。投資信託には、元本および利回りの保証はなく、運用成果がマイナスとなる場合があります。

投資信託  
3つのメリット

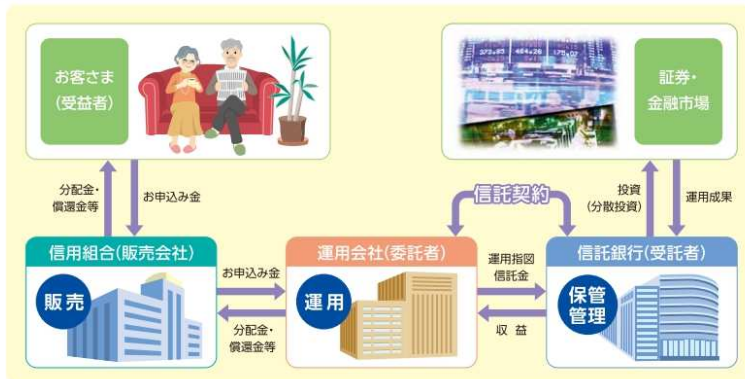
- 1 少ない金額から購入できます。
- 2 国内外の株式や債券、不動産投資信託などに分散して投資します。
- 3 投資の専門家が運用を行います。

### ● 投資信託の仕組み

投資信託は、当信用組合、運用会社、信託銀行の三者が販売、運用、保管・管理を行うなどの役割を分担しています。

投資信託の運営に関わる  
上記三者が破綻したとき

投資信託は、販売、運用、保管・管理業務の分担や金融機関の財産とお預りした財産を区分して保管(分別管理)することが法律で義務づけられているため、運営管理を行う会社が万一破綻しても信託財産は制度的に安全です。



ウ. 投資信託のリスクとリターンに関する基本的な情報

## 投資についての基本知識を身につけましょう。〈1〉

### ● リスクとリターンについて

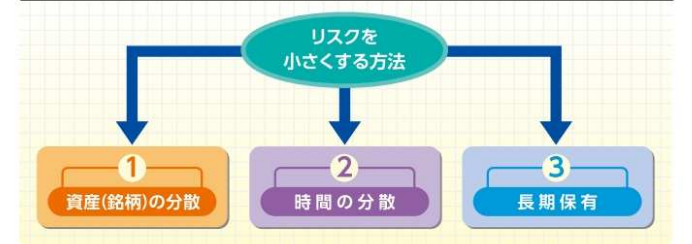
投資信託は主に流動性のある株式や債券、不動産投資信託などに投資しますので、高い収益(リターン)が期待できる反面、予測のつかない損失を被る場合もあります。投資の世界でリスクとは「予想通りにならない可能性」といったことを指します。



### ■ 投資信託が持つ主なリスク

- 価格変動リスク** 株式等の価格が上下に変動するリスクです。
- 金利変動リスク** 景気や政策等によって金利が変動するリスクです。一般的に金利が上がると債券価格は下がり、金利が下がると債券価格は上がります。
- 信用リスク** 発行体(国や企業等)の経営状態が、株価等の価格に影響を与えるリスクです。発行体の経営状態によって、発行している株式等の価格が変動します。
- 為替変動リスク** 日本円と外国為替(ユーロ・ドル等)との交換レートが変動するリスクです。海外の株式等に投資する投資信託は、一般的に為替が円安になると収益が増加し、円高になると収益が減少します。

■ いくつかの手法を組み合わせることで、「リスク」を小さくすることができます。



エ. 投資信託のリスクに関する基本的な情報

オ. お客さまの金融知識や投資経験等を踏まえ、ふさわしい商品を提案するために必要となるお客さまのご意向の確認に関する情報

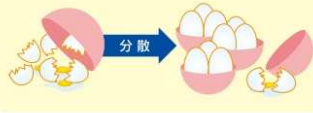
投資についての基本知識を身につけましょう。〈2〉

● リスクを小さくする方法

① 資産(銘柄)の分散

卵はひとつのカゴに盛るな(西洋の格言)

いくつかのカゴに分けておけば、ひとつのカゴを落としても、すべての卵を失うことはない。



	株式	債券	不動産
景気回復局面	●	○	○
金利反転	○	○	○
景気拡大またはインフレ局面	○	△	○
金利上昇	○	○	○
景気後退局面	△	○	○
金利反転	○	○	○
景気停滞またはデフレ局面	○	○	△
金利低下	○	○	○

●強い ○やや強い □やや弱い △弱い

※この図は過去の傾向から一般的な特徴であり、将来にわたって上記のような特徴が継続することを保証するものではありません。

② 時間の分散

価格の上下によらず一定金額を継続的に投資することで、一度に高値で買ってしまったり、安値で買い損ねることを避けることができます。

積立投資

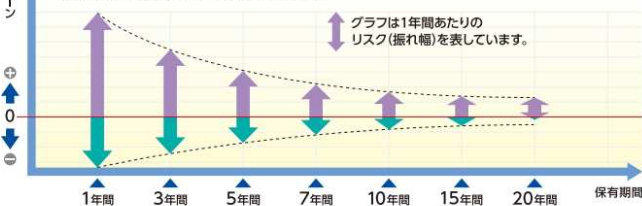


(1万円)ずつ購入した場合と(1万円)ずつ購入した場合の比較

基準価額	1回目	2回目	3回目	4回目	合計	平均購入価格	
10,000円	10,000円	8,000円	12,000円	10,000円	40,000円	10,000円	
(1万円)ずつ購入した場合	購入した口数	10,000円	12,500円	8,333円	10,000円	40,833円	9,796円
(1万円)ずつ購入した場合	購入金額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	40,000円	40,000円
(1万円)ずつ購入した場合	購入金額	10,000円	8,000円	12,000円	10,000円	40,000円	40,000円

③ 長期保有

長い期間をかけて運用することにより、短期的な市場変動の影響を小さくすることができるので、リスクの揺れ幅が徐々に小さくなり安定していきます。



※このグラフは過去の傾向から一般的な特徴であり、将来にわたって上記のような特徴が継続することを保証するものではありません。

お客さまのお話をお聞かせください。

当信用組合では、お客さまの投資目的、運用期間などをお伺いし、お客さまにふさわしい商品をご提案させていただきよう努めてまいります。

リスク	投資目的	リスクの許容度をお考えください	運用期間	商品カテゴリー	特徴・リスク
0	元本割れを避けたい	収益性よりも、元本保証があることを条件とします。	1年~5年	定期預金	元本保証商品となります(1金融機関、1預金者あたり1,000万円までその利息が保護されます。ただし、預金保険制度により全額が保護される「決済用預金」は、他の預金とは別に保護されます)。
			3年~10年	個人向け国債	国が発行し元本と利子の支払いを責任もって行う「個人」の方を対象にした国債です。1万円から購入可能で、半年毎に2回の利払いがあります。金利は、変動10年ものと固定5年・3年もの3種類があります。個人向け国債は発行から1年間、原則中途換金はできません。
1	分配金や利息による安定的な収入とともに、値上がり益を追求	分配金や利息を重視するだけでなく、値上がり益も追求するため、相応の元本割れリスクも許容します。	5年以上の余裕資金	債券型投信(国内)	主として国内の公社債に投資する投資信託です。投資対象とする債券の発行国、種類(国債・社債等)や信用力はさまざまです。投資する公社債の発行体の財務状況の変化、金利動向等により基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				債券型投信(海外)	主として海外の公社債に投資する投資信託です。投資対象とする債券の発行国、種類(国債・社債等)や信用力はさまざまです。投資する公社債の発行体の財務状況の変化、金利動向、為替変動等により基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				バランス型投信	内外の株式、債券等に幅広く投資を行う投資信託です。各資産への分散投資によるリスク低減が期待できます。投資する資産の値動きにより、基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります(外資建て資産には為替変動リスクもあります)。
2	利回り、値上がり益を追求	積極的に利回り・値上がり益を追求するため、元本割れとなるリスクがある程度大きくても許容します。	5年以上の余裕資金	不動産投信(内外)	内外の不動産投資信託(リート)を投資対象とする投資信託です。所有不動産の収益状況や相場動向等により、基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
				株式型投信(国内)	主としてわが国の株式を投資対象とする投資信託です。株価の値上がり益が期待できる一方で、大きな価格変動リスク等があります。投資する株式の値動きにより基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。
大	株式型投信(海外)	主として海外の株式を投資対象とする投資信託です。株価の値上がり益が期待できる一方で、大きな価格変動リスク等があります。投資する株式の値動きにより基準価額は変動し「元本割れ」となるリスクがあります。			

※リスクの大小は一般的な程度であり、実際に投資された場合には異なることがあります。上記の図表は、当信用組合の取扱商品別の主要な投資対象、投資方針等をもとに当信用組合が独自に分類したものであり、各運用会社が行う分類とは関係ありません。取扱商品の個別の説明は、運用商品ラインアップを参照ください。

力。投資信託をご購入の際に留意いただきたい事項についての情報

## ご購入の際の留意事項

### ●投資信託

- 投資信託は、預金ではありません。
- 投資信託は、預金保険の対象ではありません。
- 投資信託は、預金と異なり元本および利回りの保証はありません。
- 当信用組合で取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当信用組合は、ご購入・ご解約（換金）のお申込みについて取扱いを行っております。投資信託の設定・運用は各運用会社が行います。
- 投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただいたお客さまに帰属します。
- 投資信託の基準価額は、組入れ有価証券（株式・債券等）の値動きにより変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 組入れ有価証券（株式・債券等）の価格等は、経済情勢・金利動向・その有価証券の発行者の信用状態の変化や、取引が十分な流動性のもてて行えない状況（流動性リスク）等により変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 外資建て資産に投資するものは、この他に通貨の価格変動（為替変動リスク）により基準価額が変動しますので、投資元本を割り込む場合があります。
- 投資信託のご購入から換金・償還までの間に直接または間接にご負担いただく費用には次のものがあります（当信用組合で販売中の追加型投資信託の上限を表示しています）。
  - ・ 購入手数料（申込金額等に応じ、基準価額に対して、最大3.3%（消費税込））
  - ・ 信託報酬（信託財産の純資産総額に対して、最大年率1.98%（消費税込））
  - ・ 信託財産留保額（換金時の基準価額に対して、最大0.5%）
  - ・ 監査費用・売買委託手数料等その他費用
 実際の費用の種類・額および計算方法は、ファンドにより異なります。また、その保有期間・運用状況等により期中の手数料等が変動するファンドもありますので、事前に利率・上限額等をお示しすることができません。その詳細は、各ファンドの「交付目論見書」および「目論見書補完書面」でご確認ください。
- 当資料は、当信用組合が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託のご購入に際しては、必ず最新の「交付目論見書」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 「交付目論見書」および「目論見書補完書面」は、当信用組合の本店の投資信託取扱窓口にてご用意しております。

### ●個人向け国債

- 個人向け国債のご購入に際しては、必ず最新の「契約締結前交付書面」および「商品パンフレット」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 個人向け国債は発行日から1年間、中途換金は原則できません。発行後1年以上経過で中途換金可能ですが、直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.79685が差し引かれます。
- 手数料等について
  - ・ 当信用組合では、口座開設に関する手数料は不要です。
  - ・ 当信用組合では、購入手数料、換金・償還手数料は不要です。
  - ・ 当信用組合では、口座管理手数料は不要です。

## ●投資信託の手数料開示状況

各商品のパンフレットおよび目論見書に加え、「運用商品のラインアップ」ですべての商品の購入時手数料・信託報酬などの諸費用について一覧形式で資産毎に色分け表示するなど、わかりやすく開示しています。

## 運用商品ラインアップ

国	株	式	内	外	手数料		信託報酬
					購入時	運用時	
					インデックスファンド225	【設定・運用】日興アセットマネジメント	【購入手数料】2.2%（消費税込） 【信託報酬】0.572%以内（年率・消費税込、純資産総額に対して）
					インデックスファンドTSP	【設定・運用】日興アセットマネジメント	【購入手数料】2.2%（消費税込） 【信託報酬】0.572%以内（年率・消費税込、純資産総額に対して）
					ダイワ・バリュース株・オープン	【設定・運用】大和アセットマネジメント	【購入手数料】お申込み金額に応じて0.55%～3.3%（消費税込） 【信託報酬】1.672%（年率・消費税込、純資産総額に対して）
					ダイワ好配当日本株投信（季節点描）	【設定・運用】大和アセットマネジメント	【購入手数料】2.75%（消費税込） 【信託報酬】1.375%（年率・消費税込、純資産総額に対して）
					MHAM株式オープン	【設定・運用】アセットマネジメントOne	【購入手数料】2.2%（消費税込） 【信託報酬】0.803%～0.847%（年率・消費税込、純資産総額に対して、日々の基準価額の前期末基準価額に対する割合に応じて変動します。）
					ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボテック-	【設定・運用】大和アセットマネジメント	【購入手数料】2.75%（消費税込） 【信託報酬】1.815%程度（含む投資対象とする投資信託証券0.5775%程度、年率・消費税込、純資産総額に対して）
					グローバル・フィンテック株式ファンド	【設定・運用】日興アセットマネジメント	【購入手数料】2.75%（消費税込） 【信託報酬】1.925%（年率・消費税込、純資産総額に対して）

### 3.利益相反の適切な管理

当組合はお客様の利益が不当に害されることのないよう利益相反の管理を適切に行ってまいります。  
当組合のみが特別な利益となるような、一部の特定な資産運用会社に偏った商品の販売は行っておりません。

●預り残高上位20銘柄の運用会社名とファンド数

運用会社	ファンド数	割合
大和アセットマネジメント（株）	10	45.0%
日興アセットマネジメント（株）	6	30.0%
明治安田アセットマネジメント（株）	2	10.0%
ニッセイアセットマネジメント（株）	1	10.0%
アセットマネジメントOne（株）	1	5.0%

※設定5年未満のファンドは除く

### 4.職員に対する適切な動機付けの枠組み等

当組合はお客様のニーズに合った最適なサービスの提供と、金融商品の提案や販売を行うため、職員への研修や各種資格取得の推奨をしています。

●FP資格保有者数

(単位：人)

資格名称	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
FP技能士2級	37	39	40
FP技能士3級	199	188	176
合計	236	227	216

## 運用損益別顧客比率

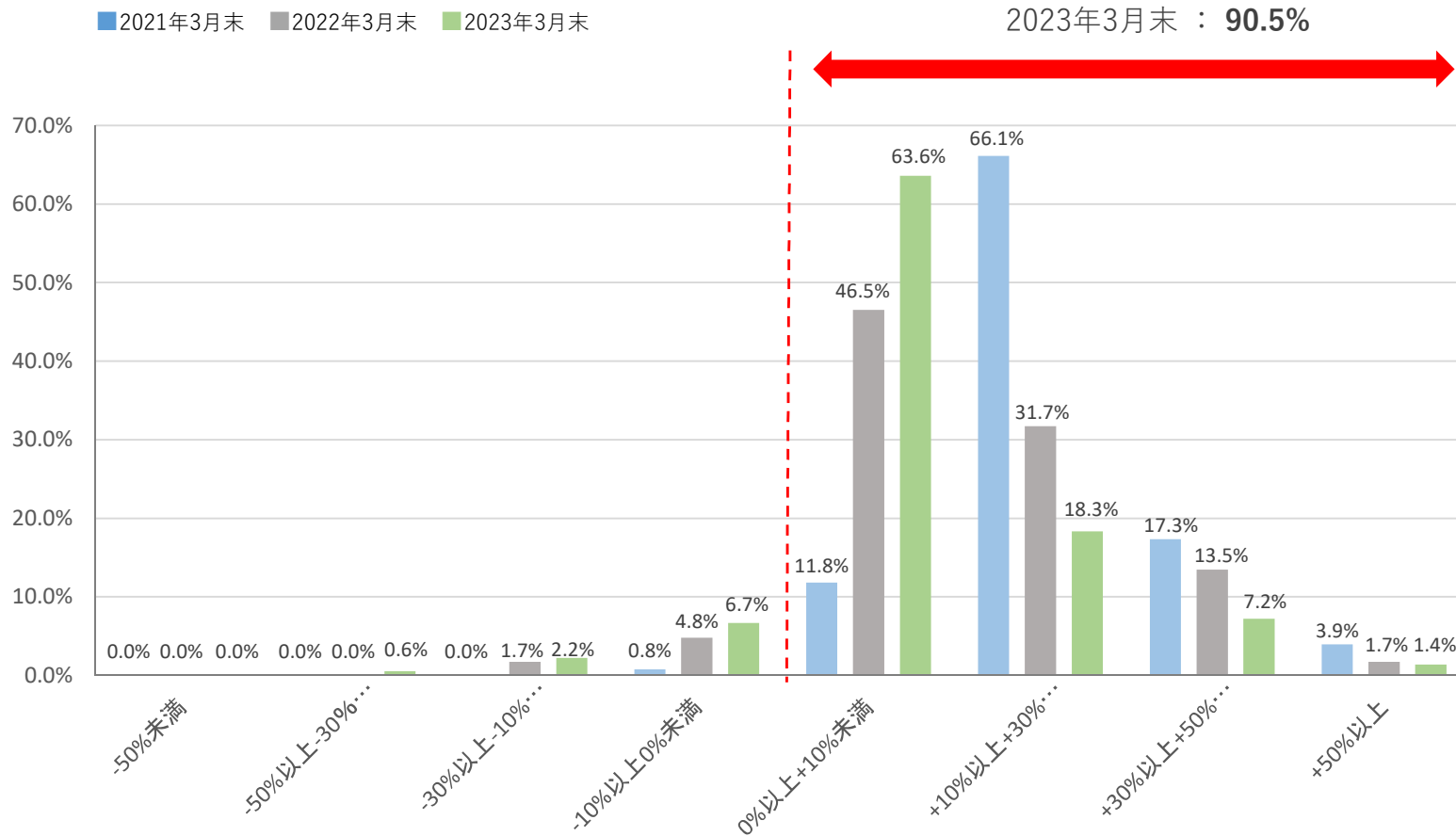
投資信託を保有しているお客様につきまして、基準日（2023年3月末）時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客様の比率を示した指標です。

運用損益がプラスのお客様

2021年3月末：99.2%

2022年3月末：93.5%

2023年3月末：90.5%



※数値は過去の実績であり、将来における運用損益をお約束するものではありません。



## 投資信託の運用損益別顧客比率

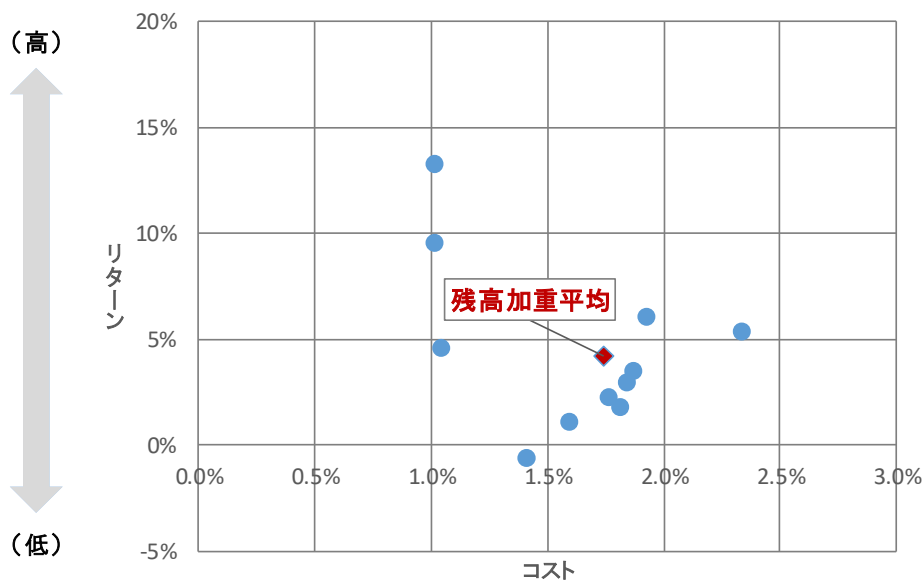
運用損益の区分	2021年3月末		2022年3月末		2023年3月末	
	顧客数	割合	顧客数	割合	顧客数	割合
+50%以上	5	3.9%	4	1.7%	5	1.4%
+30%以上+50%未満	22	17.3%	31	13.5%	26	7.2%
+10%以上+30%未満	84	66.1%	73	31.7%	66	18.3%
0%以上+10%未満	15	11.8%	107	46.5%	229	63.6%
-10%以上0%未満	1	0.8%	11	4.8%	24	6.7%
-30%以上-10%未満	0	0.0%	4	1.7%	8	2.2%
-50%以上-30%未満	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%
-50%未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合 計	127	100.0%	230	100.0%	360	100.0%

## 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごと及び預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。

●コスト・リターン表

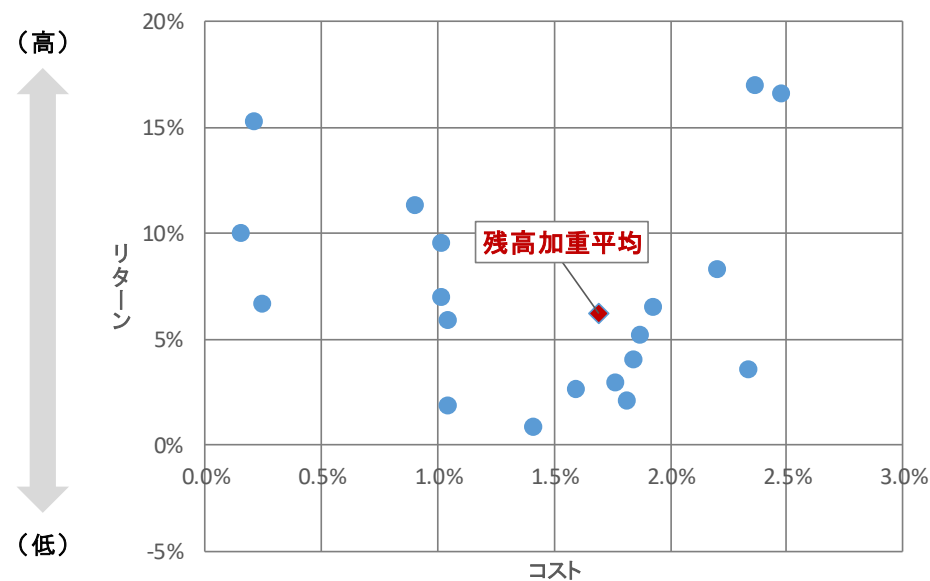
2021年3月末



(低) ← (高)

残高加重平均値	コスト (%)	リターン (%)
	1.74	4.21

2022年3月末



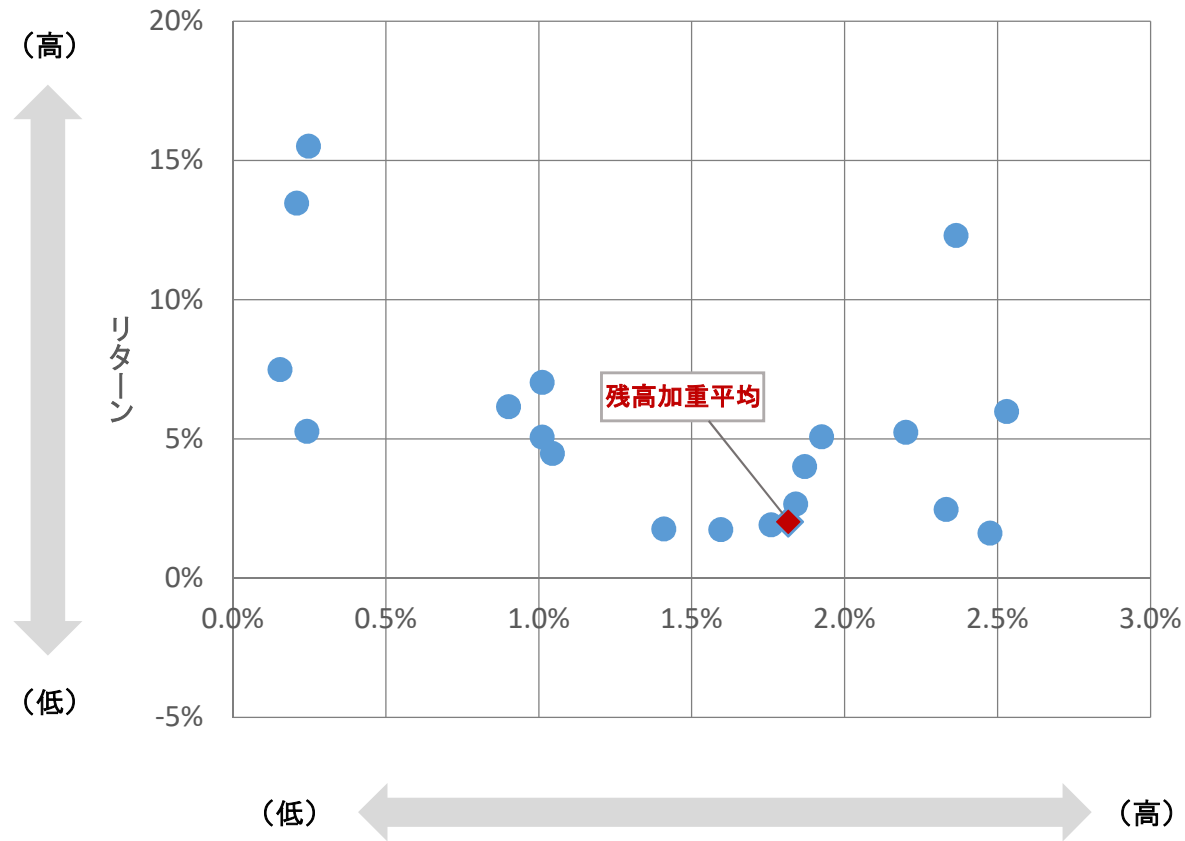
(低) ← (高)

残高加重平均値	コスト (%)	リターン (%)
	1.69	6.19

※数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。  
 ※基準日において、当組合の投資信託28銘柄のうち、残高のある銘柄について記載しております。

●コスト・リターン表

2023年3月末



残高加重平均値	コスト(%)	リターン(%)
	1.45	5.45

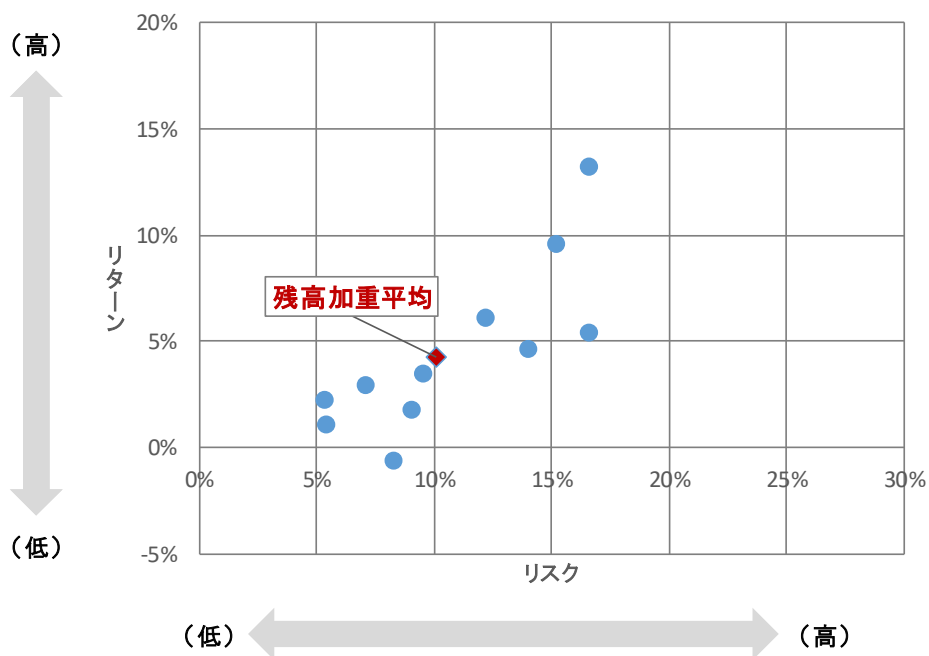
※数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。  
 ※基準日において、当組合の投資信託28銘柄のうち、残高のある銘柄について記載しております。

## 投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごと及び預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。

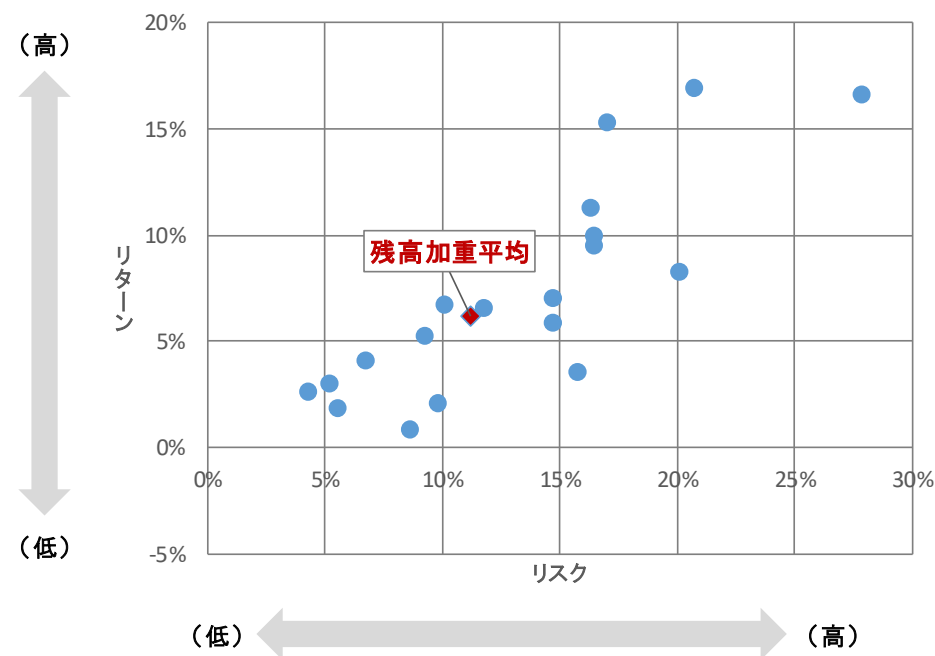
● リスク・リターン表

2021年3月末



残高加重平均値	リスク(%)	リターン(%)
	10.12	4.21

2022年3月末

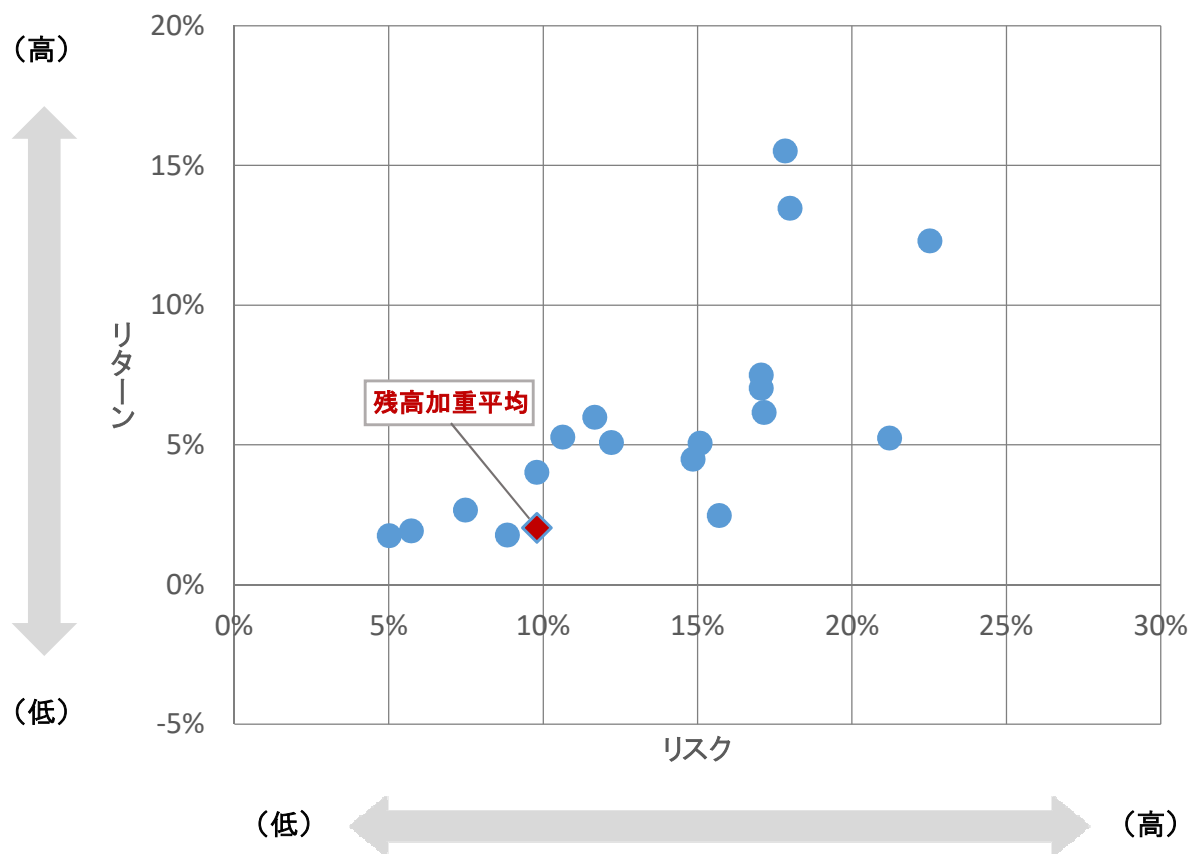


残高加重平均値	リスク(%)	リターン(%)
	11.20	6.19

※数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。  
 ※基準日において、当組合の投資信託28銘柄のうち、残高のある銘柄について記載しております。

● リスク・リターン表

2023年3月末



残高加重平均値	コスト(%)	リターン(%)
	12.95	5.45

※数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

※基準日において、当組合の投資信託28銘柄のうち、残高のある銘柄について記載しております。

当組合の投資信託預り残高上位20銘柄

【2021年3月末】

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
1	スーパーバランス(毎月分配型)	1.87	9.56	3.47
2	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.93	12.18	6.09
3	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	1.60	5.43	1.11
4	MHAM J-REIT インデックスファンド (毎月決算型)	1.05	13.98	4.60
5	インデックスファンド225	1.01	16.58	13.25
6	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.84	7.09	2.95
7	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.76	5.31	2.26
8	ダイワ・バリュー・株・オープン	2.33	16.60	5.37
9	世界のサイフ	1.41	8.26	-0.64
10	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (年1回決算型)	1.82	9.05	1.80
11	インデックスファンドTSP	1.01	15.21	9.55

【2022年3月末】

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
1	スーパーバランス(毎月分配型)	1.87	9.25	5.24
2	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.93	11.78	6.54
3	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	1.60	4.30	2.62
4	インデックスファンド225	1.01	16.44	9.51
5	MHAM J-REIT インデックスファンド (毎月決算型)	1.05	14.70	5.89
6	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.84	6.71	4.07
7	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.76	5.19	2.98
8	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.48	27.84	16.60
9	ダイワ・バリュー・株・オープン	2.33	15.78	3.54
10	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ーロボテックー	2.37	20.71	16.96
11	iFree 8資産バランス	0.24	10.12	6.70
12	iFree 外国株式インデックス (為替ヘッジなし)	0.21	17.04	15.27
13	iFree 日経225インデックス	0.15	16.44	10.00
14	世界のサイフ	1.41	8.64	0.86
15	ニッセイ世界リートオープン(毎月決算型)	2.20	20.06	8.29
16	年金積立 Jグロース	0.90	16.31	11.29
17	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	1.82	9.80	2.08
18	インデックスファンドTSP	1.01	14.69	6.99
19	ドルマネーファンド	1.05	5.52	1.84

【2023年3月末】

順位	銘柄名	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
1	スーパーバランス(毎月分配型)	1.87	9.79	4.01
2	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 成長重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.93	12.21	5.08
3	インデックスファンド225	1.01	17.06	7.03
4	明治安田外国債券オープン(毎月分配型)	1.60	5.01	1.74
5	iFree 8資産バランス	0.24	10.63	5.27
6	iFree S&P500インデックス	0.25	17.84	15.51
7	MHAM J-REIT インデックスファンド (毎月決算型)	1.05	14.85	4.48
8	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ 安定重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.76	5.73	1.92
9	iFree 外国株式インデックス (為替ヘッジなし)	0.21	17.99	13.46
10	iFree 日経225インデックス	0.15	17.06	7.49
11	ダイワ・バリュー・株・オープン	2.33	15.70	2.47
12	ニッセイ世界リートオープン(毎月決算型)	2.20	21.22	5.24
13	グローバル・フィンテック株式ファンド	2.48	33.37	1.62
14	ダイワ・マルチアセット・ファンド・シリーズ インカム重視ポートフォリオ(奇数月分配型)	1.84	7.48	2.66
15	ロボット・テクノロジー関連株ファンド ーロボテックー	2.37	22.52	12.30
16	年金積立 Jグロース	0.90	17.15	6.16
17	世界のサイフ	1.41	8.84	1.77
18	GW7つの卵	2.53	11.67	5.98
19	インデックスファンドTSP	1.01	15.08	5.06
20	ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン (毎月分配型)	1.85	9.79	2.03

(注) コ ス ト：販売手数料率の1/5と信託報酬率の合計値  
リ ス ク：過去5年間の月次リターンの標準偏差(年率換算)  
リ タ ー ン：過去5年間のトータルリターン(年率換算)

※数値は過去の実績であり、将来における投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。  
※基準日において、当組合の投資信託28銘柄のうち、残高のある銘柄について記載しております。

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応関係表

金融事業者の名称		銚子商工信用組合		
■取組方針掲載ページのURL		http://www.choshi-shoko.co.jp/kpi/		
■取組状況掲載ページのURL		http://www.choshi-shoko.co.jp/kpi/pdf/toushinkpi.pdf		
原則		実施・不実施 ※6	取組方針の該当箇所 ※6	取組状況の該当箇所 ※6
原則 2	【顧客の最善の利益の追求】 金融事業者は、高度の専門性と職業倫理を保持し、顧客に対して誠実・公正に業務を行い、顧客の最善の利益を図るべきである。金融事業者は、こうした業務運営が企業文化として定着するよう努めるべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
	(注) 金融事業者は、顧客との取引に際し、顧客本位の良質なサービスを提供し、顧客の最善の利益を図ることにより、自らの安定した顧客基盤と収益の確保につなげていくことを目指すべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
原則 3	【利益相反の適切な管理】 金融事業者は、取引における顧客との利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合には、当該利益相反を適切に管理すべきである。金融事業者は、そのための具体的な対応方針をあらかじめ策定すべきである。	実施	取組方針3 利益相反の適切な管理	2022年度・取組状況(6ページ) 3. 利益相反の適切な管理
	(注) 金融事業者は、利益相反の可能性を判断するに当たって、例えば、以下の事情が取引又は業務に及ぼす影響についても考慮すべきである。 ・ 販売会社が、金融商品の顧客への販売・推奨等に伴って、当該商品の提供会社から、委託手数料等の支払を受ける場合 ・ 販売会社が、同一グループに属する別の会社から提供を受けた商品を販売・推奨等する場合 ・ 同一主体又はグループ内に法人営業部門と運用部門を有しており、当該運用部門が、資産の運用先に法人営業部門が取引関係等を有する企業を選ぶ場合	実施	取組方針3 利益相反の適切な管理	2022年度・取組状況(6ページ) 3. 利益相反の適切な管理
原則 4	【手数料等の明確化】 金融事業者は、名目を問わず、顧客が負担する手数料その他の費用の算定を、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、顧客が理解できるように情報提供すべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供 ●投資信託の手数料開示状況
原則 5	【重要な情報の分かりやすい提供】 金融事業者は、顧客との情報の非対称性があることを踏まえ、上記原則4に示された事項のほか、金融商品・サービスの販売・推奨等に係る重要な情報を顧客が理解できるよう分かりやすく提供すべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注1) 重要な情報には以下の内容が含まれるべきである。 ・ 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの基本的な利益(リターン)、損失その他のリスク、取引条件 ・ 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品の組成に携わる金融事業者が販売対象として想定する顧客属性 ・ 顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの選定理由(顧客のニーズ及び意向を踏まえたものであると判断する理由を含む) ・ 顧客に販売・推奨等を行う金融商品・サービスについて、顧客との利益相反の可能性がある場合には、その具体的内容(第三者から受け取る手数料等を含む)及びこれが取引又は業務に及ぼす影響	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注2) 金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、個別に購入することが可能であるか否かを顧客に示すとともに、パッケージ化する場合としない場合を顧客が比較することが可能となるよう、それぞれの重要な情報について提供すべきである(注2)～(注5)は手数料等の情報を提供する場合においても同じ)。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注3) 金融事業者は、顧客の取引経験や金融知識を考慮の上、明確、平易であって、誤解を招くことのない誠実な内容の情報提供を行うべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注4) 金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純なリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同様の商品の内容と比較することが容易となるよう、配意した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造をきめ、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注5) 金融事業者は、顧客に対して情報を提供する際には、情報を重要性に応じて区別し、より重要な情報については特に強調するなどして顧客の注意を促すべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
	(注6) 金融事業者は、顧客に対して販売・推奨等を行う金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供を、分かりやすく行うべきである。単純なリスクの低い商品の販売・推奨等を行う場合には簡潔な情報提供とする一方、複雑又はリスクの高い商品の販売・推奨等を行う場合には、顧客において同様の商品の内容と比較することが容易となるよう、配意した資料を用いつつ、リスクとリターンの関係など基本的な構造をきめ、より分かりやすく丁寧な情報提供がなされるよう工夫すべきである。	実施	取組方針2 重要な情報の分かりやすい提供	2022年度・取組状況(2～5ページ) 2. 重要な情報の分かりやすい提供
原則 6	【顧客にふさわしいサービスの提供】 金融事業者は、顧客の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを把握し、当該顧客にふさわしい金融商品・サービスの組成、販売・推奨等を行うべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
	(注1) 金融事業者は、金融商品・サービスの販売・推奨等に際し、以下の点に留意すべきである。 ・ 顧客の意向を確認した上で、まず、顧客のライフプラン等を踏まえた目標資産額や安全資産と投資性資産の適切な割合を検討し、それに基づき、具体的な金融商品・サービスの提案を行うこと ・ 具体的な金融商品・サービスの提案は、自らが取り扱う金融商品・サービスについて、各業法の枠を超えて横断的に、類似商品・サービスや代替商品・サービスの内容(手数料を含む)と比較しながら行うこと ・ 金融商品・サービスの販売後において、顧客の意向に基づき、長期的な視点にも配慮した適切なフォローアップを行うこと	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
	(注2) 金融事業者は、複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合には、当該パッケージ全体が当該顧客にふさわしいかについて留意すべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
	(注3) 金融商品の組成に携わる金融事業者は、商品の組成に当たり、商品の特性を踏まえて、販売対象として想定する顧客属性を特定・公表するとともに、商品の販売に携わる金融事業者においてそれに沿った販売がなされるよう留意すべきである。	非該当	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供(※)	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供(※)
	(注4) 金融事業者は、特に、複雑又はリスクの高い金融商品の販売・推奨等を行う場合や、金融取引被害を受けやすい属性の顧客グループに対して商品の販売・推奨等を行う場合には、商品や顧客の属性に応じ、当該商品の販売・推奨等が適当かより慎重に審査すべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
	(注5) 金融事業者は、従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解を深めるよう努めるとともに、顧客に対して、その属性に応じ、金融取引に関する基本的な知識を得られるための情報提供を積極的に行うべきである。	実施	取組方針1 お客様の最善の利益追求とサービスの提供	2022年度・取組状況(1ページ) 1. お客様の最善の利益の追求とサービスの提供
原則 7	【従業員に対する適切な動機づけの仕組み等】 金融事業者は、顧客の最善の利益を追求するための行動、顧客の公正な取引、利益相反の適切な管理等を促進するように設計された報酬・業績評価体系、従業員研修その他の適切な動機づけの仕組みや適切なガバナンス体制を整備すべきである。	実施	取組方針4 職員に対する適切な動機づけの仕組み等	2022年度・取組状況(6ページ) 4. 職員に対する適切な動機づけの仕組み等
	(注) 金融事業者は、各原則(これらに付されている注を含む)に関して実施する内容及び実施しない代わりに譲る代替策の内容について、これらに携わる従業員に周知するとともに、当該従業員の業務を支援・検証するための体制を整備すべきである。	実施	取組方針4 職員に対する適切な動機づけの仕組み等	2022年度・取組状況(6ページ) 4. 職員に対する適切な動機づけの仕組み等

【照会先】

部署	総合企画部
連絡先	電話番号 0479-22-5335

※6「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則2～7(これらに付されている注を含む)を、「実施」、「一部実施」、「不実施」、「非該当」を選択し、取組方針・取組状況の該当箇所(項目名、見出し、ページなど)を記載してください。  
金融事業者のウェブサイトに掲載されている対応関係表と本報告フォームとに不一致があれば、金融事業者リストへは掲載されません。